

(様式4)

平成29年11月7日

## 平成29年度 第2回 大阪市立堀江中学校 校校協議会 実施報告書

校園名 大阪市立堀江中学校

校園長名 山本 裕康

日 時	平成29年11月7日（火）18時30分～20時00分（1時間30分）		
場 所	大阪市立堀江中学校 1階 会議室		
出席者	委員など	長岡 繽（会長） 李保 正夫（委員） 川村美代子（委員） 丹羽憲一郎（委員） 末友 良紀（委員）	
	校園	山本 裕康（校長） 小西 良一（副校長） 隅戸 祥子（教頭）	
	区役所	藤本 和久（課長） 北風 敏幸（課長代理）	
議題	(1) 平成29年度「運営に関する計画」（進捗状況）について (2) 平成29年度「全国学力・学習状況調査」結果について (3) その他		
協議要旨	協議の結果		意見の概要
	(1)	○「運営に関する計画」の取組内容に対する進捗状況と中間評価、今後の取組について、概ね理解を得た。	○ICTを活用した授業づくりは、年配の教員より若手の教員にとっては得意とする分野であるのかもしれない。環境はようやく整備されてきたようなので、今後に期待したい。 ○授業の復習等、家庭学習の充実に関して課題があつたが、3年生から解消しつつある。 ○英語に興味関心が高く、国際的な仕事に就きたいと思う生徒が多いというのは、このグローバル化のすすむ現代においてはとても重要なことである。
	(2)	○「全国学力・学習状況調査結果」を基に分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について、概ね理解を得た。	○今回の結果からは生徒たちの学力が向上している。生徒も頑張ったが教員による授業づくりの工夫が大きかったのだと評価する。 ○特に、生徒質問紙からは数学の楽しい授業が構築できているのだと推測できる。校内でも授業方法や授業研究について共有し、今後も継続して授業の充実に努めたい。 ○国語では1年時から「書く力」を重点的に、思考したことを言語化・文章化することを意識して取り組んできた成果があった。
	(3)	○堀江中学校の未来について情報を共有した。	○西高校への移転までの期間、現在の狭い環境でストレスを感じながら生活しなければならない生徒のことを第1に考えていかなければならない。
協議資料	○平成29年度「運営の関する計画」（進捗状況） ○平成29年度「全国学力・学習状況調査」結果について ○平成29年度「学校評価アンケート」（生徒10月実施） 他		
備考	傍聴者[ ]名		

